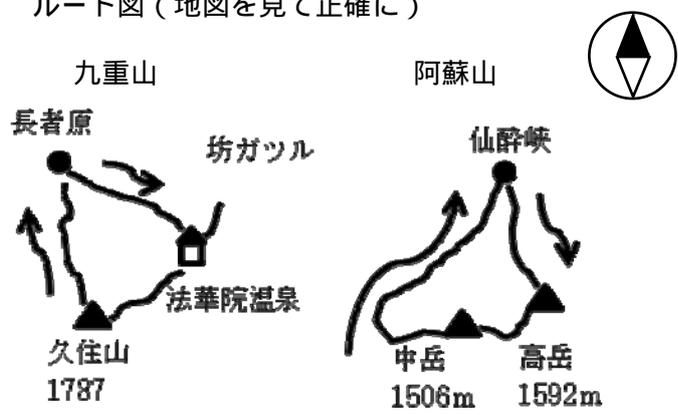


06月度 例会 山行報告書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:竹内幹雄 塚本英吾 青山武 福井正信
個人		報告日	07/07		
山域	阿蘇くじゅう国立公園	山行日	2013年6月09日(日)~ 2013年6月11日(火)		
山名	九重山・阿蘇山				

山行目的	ミヤマキリシマと百名山	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-------------	------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図(地図を見て正確に)  <p>1/2.5万地形図: 湯坪・大舟山・阿蘇山</p>	九重山 6/9 天候 雨 10:30 長者原 P 発 11:10 1165m 12:45 分岐 12:50 キャンプ場 14:45 平治岳 16:30 法華院温泉 6/10 雨のち曇り 7:15 法華院温泉発 9:15 白口岳 10:10 稲星山 11:00 久住山 11:20 久住別れ 12:15 すがもり避難小屋 13:50 長者原 P 着	阿蘇山 6/11 天候 曇り 8:33 仙酔峡登山口 9:00 1200m 10:55 分岐 11:20 高岳 11:45 中岳 13:10 仙酔峡登山口
--	--	--

山行報告 名鉄バスセンター20:10発の高速バスに乗り翌朝、別府北浜で下車、レンタカーで九重山の麓へと向かい長者原Pに到着する。小雨が降る中でカッパを着て、くじゅう登山口から出発。緩やかな林道を進んでいくが、やがて狭い登山道となり雨で濡れた登山道は「泥道」で転んだら「泥まみれになりそう」と思いながら歩いて行く。やがて平坦な所に出て木道歩きとなる。雨ヶ池越を通過して坊ガツル方面に向かう。そして、分岐に出るとその先は道路が広くなりテントや水場が見えてきて、坊ガツルに到着。そこからミヤマキリシマが多い平治岳へ向かう。大戸越から急な登りとなる。登山道は登り専用、下り専用とありこのシーズンは登山者も多い。ミヤマキリシマが群生する急斜面を登り平治岳頂上に到着、曇り空で景色が見えないのが残念。早々と下山、宿泊先の法華院温泉に行く。そして温泉に浸かり疲れを癒す。食事を済ませ睡眠。翌日、天気は雨。カッパを着て出発、鉾立峠から白口岳、稲星山を登って久住山へと向かう。途中で雨が止んだがガスがかかって景色は見えぬ。久住山からガラ場を下り久住別れ、平坦な北千里浜を過ぎ諏蛾守越から下るとやがて林道歩きとなり長者原Pに無事に到着。車で阿蘇山の麓にある、本日の宿泊先、阿蘇簡保センターに移動する。翌日、仙酔峡登山口より仙酔尾根から高岳へ登る。途中ミヤマキリシマの群生地を抜けるが花の時期は終わっていた。尾根は溶岩流の塊でペンキの目印を見ながらコースから外れないように登って行く。やがて中間地点

の目印を発見、パカ尾根と呼ばれる尾根をさらに登ると分岐に出る。高岳東峰に行こうとしたが途中で引き返し高岳に向かった。頂上からの景色は曇り空で眺めなかった。下りは中岳山頂に行き、その先にある吊尾根から展望所辺りで火口から上がる噴煙を眺めた。遊歩道を下って仙酔峡登山口に下山。その後、車で移動、簡保の温泉に入り別府に戻りレンタカーを返却。20:25発の高速バスに乗り、翌朝、名古屋へと到着した。

リーダー所見 出発前、天候は良さそうと思っていたが、現地に着いたら雨、曇りで展望は望めなかった。しかし、ミヤマキリシマを見ることができ良かった。この時期、法華院温泉は事前に予約しないと泊まれないほどの宿泊客で賑わっていました。また機会があれば天気に恵まれたときに登り、頂上からの眺めを楽しむことができれば良いな、と思いました。

《フリースペース》



平治岳頂上

確認
(リーダー)
竹
13/07/07/
内

作成
(報告者)
竹
13/07/07
内